

みずほCustomer Desk Report 2024/09/09 号(As of 2024/09/06)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	143.27 AUD/USD
TKY 9:00AM	143.37	1.1111	159.31	1.3176	0.6741
SYD-NY High	144.20	1.1155	159.60	1.3238	0.6767
SYD-NY Low	141.75	1.1066	157.48	1.3111	0.6660
NY 5:00 PM	142.17	1.1086	157.76	1.3130	0.6671
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	40,345.41	▲ 410.34	日本2年債	0.3700%	0.0000%
NASDAQ	16,690.83	▲ 436.83	日本10年債	0.8500%	▲0.0200%
S&P	5,408.42	▲ 94.99	米国2年債	3.6534%	▲0.0850%
日経平均	36,391.47	▲ 265.62	米国5年債	3.4947%	▲0.0389%
TOPIX	2,597.42	▲ 23.34	米国10年債	3.7136%	▲0.0105%
シカゴ日経先物	35,280.00	▲ 1,755.00	独10年債	2.1700%	▲0.0370%
ロンドンFT	8,181.47	▲ 60.24	英10年債	3.8875%	▲0.0260%
DAX	18,301.90	▲ 274.60	豪10年債	3.8980%	▲0.0340%
ハンセン指数	-	-	USDJPY 1M Vol	12.91%	▲0.38%
上海総合	2,765.81	▲ 22.51	USDJPY 3M Vol	12.08%	▲0.09%
NY金	2,524.60	▲ 18.50	USDJPY 6M Vol	10.99%	▲0.13%
WTI	67.67	▲ 1.48	USDJPY 1M 25RR	▲2.35%	Yen Call Over
CRB指数	266.86	▲ 4.40	EURJPY 3M Vol	10.92%	0.07%
ドルインデックス	101.18	0.07	EURJPY 6M Vol	10.20%	▲0.04%

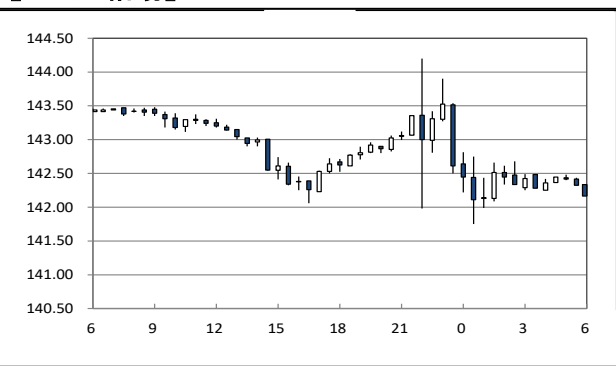
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
9月6日	14:00	日 景気一致指数・速報	7月 117.1	116.2
	15:00	独 鉱工業生産(季調済/前月比)	7月 -2.4%	-0.5%
	18:00	欧 GDP(前期比/前年比)・確報	2Q 0.2%/0.6%	0.3%/0.6%
	21:30	米 非農業部門雇用者数変化	8月 142k	165k
	21:30	米 失業率	8月 4.2%	4.2%
	21:30	米 平均時給(前月比/前年比)	8月 0.4%/3.8%	0.3%/3.7%
9月7日	00:00	米 ウォラーFRB理事 発言	-	適切であれば利下げの前倒しを支持

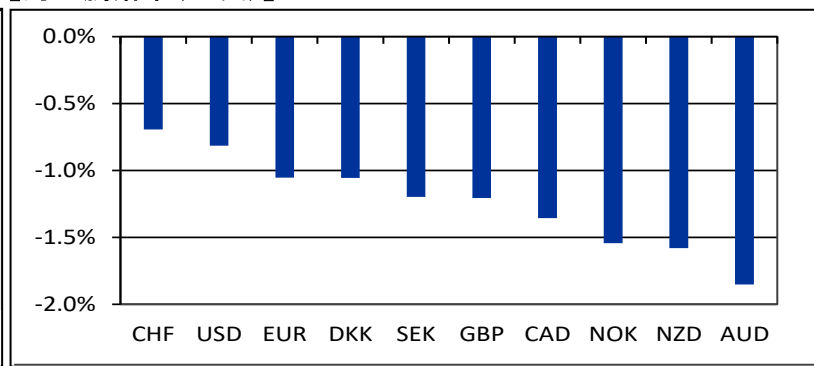
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
9月9日	08:50	日 GDP(季調済/前期比)・確報	2Q 0.8%	0.8%
	08:50	日 GDP(年率/季調済/前期比)・確報	2Q 3.2%	3.1%
	08:50	日 GDPデフレーター(前年比)・確報	2Q 3.0%	3.0%
	08:50	日 貿易収支	7月 -¥427.6b	¥556.3b
	23:00	米 卸売売上高(前月比)	7月 -	-0.6%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	141.30-142.80	1.1050-1.1180	156.50-158.50

【マーケット・インプレッション】

東京時間のドル円は143.37でオープン。イベントを控えたポジション調整的な動きもあっても、142円ちょうど近辺まで下落後、143円台前半まで値を戻すなど落ち着かない値動き。注目された米8月雇用統計は、発表直後は大きく上下動するも、総じて売りが優勢。141.75まで下値を更新し、142.17でクローズした。米8月雇用統計は、過去分も下方修正された雇用者数の伸びの鈍化が目立ち、9月FOMCでの50bp利下げの確信を強めるほどではないにせよ、労働市場の減速を示すには十分な内容。ブラックアウト期間入りしたことあり、米経済指標の結果にはより注意をしつつも、利下げを目前に控えた通貨という事実がドル売りを促し、ドル円は上値の重い値動きになると予想する。

東京	東京時間のドル円は143.37レベルでオープン。本日夜間に発表される米雇用統計次第で9月FOMCが50bpの利下げになる可能性が警戒され、米短期金利が下落するのに合わせてドル円は下落。指標発表を前に押し目買いも入りづらく、日中を通してドル円は下落し142.34レベルでロンドンに渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、142.34レベルでオープン。午後に米8月雇用統計を控え、円買いが先行し142.06まで下落。米国株先物指数も売られリスクオフムードとなった。その後、円買いの勢いは続かず、徐々に値を切り上げて結局143.07レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は142円台半ばでスタート。米金利の低下に伴った売りが先行し、142.06まで下落。しかし、その後は下げ渋り、徐々に値を戻し、143.07レベルでNYオープン。朝方に発表された注目の米8月非農業部門雇用者数が予想を下回り、前回分の結果も下方修正された一方、平均時給(前月比)は予想を上回り、失業率も予想通りの結果となる。強弱混合な内容を受け、発表直後は141.98と144.20の間を乱高下し、売買一巡後は143.90付近まで反発する。その後、ウォーFRB理事が年内の大幅利下げの可能性を否定しなかった姿勢を受け、米金利が再度低下する動きが重しとなり、ドル円も一時141.75まで値を下げる神経質な値動きが続く。午後は再び142円台前半付近まで買い戻され、その後は142.30付近での小動きが続き、142.17レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.11台前半でスタート。米雇用統計の結果発表を控え、1.1110付近での様子見姿勢が広がり、1.1107レベルでNYオープン。午前中は先述の米8月雇用統計の内容を受け、発表直後は瞬時に1.1155まで上昇するも、その後は1.1066まで急落する等荒い値動き。売買一巡後は1.1100ちょうど付近を挟んだ推移が続く。午後は1.1080付近まで小幅反落し、1.1086レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。